

愛知県などと連携を図りながら、これらの施設と本町の神明公園、航空館b o o nを併せて観光資源化する「航空のフィールドミュージアム構想」の実現に向けて取り組んでまいります。

県営名古屋空港の利用者につきましては、順調に増加しております。現在の発着便は9都市19路線で、平成二十七年三月から新たに出雲線と北九州線が就航したことにより、平成二十七年年度の年間利用者は70万人を突破し、過去最高を更新する見込みです。

航空機の利用助成につきましては、制度開始から5年が経過しました。年間空港利用者の数は、制度開始前の30万人から倍以上となっていることから、現在の片道大人3000円、子ども1500円の助成を、それぞれ2000円と1000円に変更してまいります。

限られた財源の中で、より多くの方々に、長くご利用いただくため、ご理解をお願いいたします。

航空館b o o nにつきましては、魅力を一層高めるため、展示内容を充実します。名古屋空港の空を、来訪者の方々が楽しく体感していただけるよう、フライトシミュレータとクイズ端末機を更新してまいります。

中小企業の振興につきましては、信用保証料補助の増額を行ってまいります。



特集

す。これにより約20%の融資枠の拡大につながります。引き続き、中小企業の経営の安定化に寄与してまいります。

農業につきましては、小牧基地内の豊山用排水路改修工事、伊勢山・下屋敷をはじめとする水路やポンプ柵の浚渫、富士ポンプの更新など、農業施設の適正な維持管理に努めてまいります。

町民農園につきましては、現在、神戸農園、青山農園、野田農園の3か所ご利用いただいております。野田農園につきましては、土地の所有者への

返還により、平成二十八年三月をもって廃止します。現在ご利用の皆様には、収穫作業や私物の撤去などの整理期間を六月十九日まで設けておりますので、ご理解をお願いします。なお、神戸農園、青山農園につきましては、引き続き適正な運用を図ってまいります。

目標 ③ 安全・安心で住みやすさを 実感できるまち

「目標3 安全・安心で住みやすさを
実感できるまち」です。

本町では、平成十四年にとよまタウンバスの運行を開始して以来、町民の日常生活の足として、民間の路線バスとともに利用されてきました。一層の公共交通の充実を目指して、名古屋市営バスの路線延伸に向けた社会実験を行います。

これは、空港利用者や周辺地域の通勤・通学等の利用者の需要動向を把握するため、名古屋市と連携して実施するものです。実施区間は、北部市場から県営名古屋空港までの片道2・2キロメートルです。現在、名古屋市場間が運行している黒川・北部市場間を延伸して実験を行い、実施期間は、平

成二十九年三月の1か月間を予定しております。今回の社会実験をもとに、名古屋市営バスの定期運行につなげてまいりたいと考えております。

防災につきましては、昨年九月、震度6弱の地震を想定した総合防災訓練において、新たな試みとしてシェイクアウト訓練や自衛隊の炊事車による炊き出しなど、より実践に近い形で実施いたしました。日ごろから防災意識を醸成させていくためにも、新たな取組を取り入れながら今後も継続して実施してまいります。

